

2019年市民社会川柳ベスト10

NPO法人市民社会研究所のホームページ上で更新している「市民社会川柳」の中から、
会員の投票により2019年のベスト10を選びました。(番号は、ホームページ上の過去の作品番号)

第1位 「いじめダメ」職員室に貼るポスター 作 松井真理子 (116)

神戸の小学校での先生による先生いじめは衝撃的でした。

第2位 令和とは「巧言令色・付和雷同？」 作 坂東 行和 (65)

新元号はおおむね高評価ですが、読みようによっては今の政治を体現？

第3位 「寄り添う」も陛下と首相に見る落差 作 吉武三和子 (49)

沖縄の対応をみるまでもなく、市民は平成天皇の御心を感じています。

第4位 「表現の不自由」やっぱり不自由に 作 松井真理子 (92)

「あいちトリエンナーレ」の企画展「表現の不自由展・その後」が中止に。

第5位 官邸のモラル崩れて「サクラチル」 作 坂東 行和 (128)

年末「桜を見る会」問題で政権は動揺し、内閣支持率が下がり続けました。

第6位 投票結果を真摯に受け止め土砂投入 作 松井真理子 (24)

圧倒的多数で辺野古基地建設に反対の民意が出た翌日、政府は土砂を投入。

第7位 二千万無い庶民にも有り選挙権 作 坂東 行和 (78)

「老後は2000万円貯蓄が必要」という政府。庶民にはムリだが、選挙には行ける。

第8位 化学賞栄誉も国は化石賞 作 坂東行和+松井真理子 (145)

吉野博士のノーベル化学賞は国の名誉ですが、脱石炭に後ろ向きな日本は化石賞。

第9位 買い物も覚悟して出るこの暑さ 作 吉武三和子 (95)

この時期に来年はスポーツの祭典とは・・・。

第10位 ニュースショー隣国の汚職はよく伝え 作 坂東 行和 (102)

韓国のたまねぎ男くらい日本の政官界の不祥事も報道してほしい。